
ワルイージ達が共同生活を始めるようです

青い飛竜

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ワルイージ達が共同生活を始めるようです

【Nコード】

N7127Z

【作者名】

青い飛竜

【あらすじ】

出番に恵まれないマリオキャラ達が知名度アップの為に共同生活を始めるようです。

基本的にセリフメインでマリオキャラで有名所のマリオやヨッシー、クッパ、ワリオ等の出番は控え目になっています。

2011/12/27現在の登場キャラクター一覧

・共同生活組

ワルイージ、キノピコ、キャサリン、クツパー、ヘイホー、ボ
スパックン、キングテレサ

・DKシリーズ組

ドンキー、デイディー、ファンキー

・その他

ジュゲム、クツパ、ヨッシー、キノピオ

メタ・パロディ要素あり

初投稿なので目茶苦茶ですが温かい目でみてやって下さい。

登場人物紹介

主な登場人物

ワルイージ

一応この話の主人公…と云うことになっている。基本ツツコミ役だがたまに暴走する。

クツパ Jr.

クツパの息子。かなり生意気で腹黒い。勿論未成年。

キャサリン

オカマの恐竜。料理好きだが料理が致命的に下手。「オカマ」と言うと怒る。

キノピコ

キノピオの彼女。無邪気キャラだがたまに腹黒。因みに本人に悪意は無い。なお、キャサリン同様料理が下手。こちらも未成年。

ハイホー

この部屋で数少ないマトモなキャラ。料理、洗濯、掃除、修理と何でもできる。

キングテレサ

有名なお化け屋敷「テレサハウス」で一日中働いているため余り家にはいない。見た目とは裏腹に意外と真面目。

ボスパックン

どっかの植物園でバイトをしているらしい。

共同生活開始

キノコ王国某所

ジユゲム

「…というわけで皆さんに集まってもらいました」

ワルイージ

「待て。説明が無いぞ！」

ジユゲム

「まあ簡単に言うところの小説の説明の通りですね。じゃあ質問は？」

クツパ Jr.

「はいはい！」

ジユゲム

「はいそこ」

クツパ Jr.

「何でボクはマリオカート7に出場出来なかったんだよ！」

ジユゲム

「し、知りません！」

ワルイージ

「いきなりそう来たか！」

クツパ Jr.

「だいたいあの蜂がボクを差し置いて出場するのがおかしいんだよ」

ワルイージ

「ジユゲム、お前まさか…」

ジユゲム

「不正は無かった」

ワルイージ

「……………」

キノピコ

「は〜い」

ジユゲム

「どうしましたか？」

キノピコ

「ジユゲムはどこに住んでいるの？」

ジユゲム

「ああ、私の家ならこの家の裏にありますよ」

ワルイージ

「皆、とりあえず部屋決めて荷物置こうぜ！」

キノピコ

「わ〜広〜い」

ワルイージ

「これなら俺達が全員入れそうだな」

ハイホー

「結構豪華な造りですね」

ジユゲム

「どうですか？気に入りましたか？」

クツパ」

「まあ、これなら…」

ジユゲム

「あ、後マリオカートの件なのですが、皆さんにはこれからやって貰うかもしれないので心配いりませんよ」

ワルイージ

「いつやるんだ？」

ジユゲム

「詳しい事はまだ言えません」

キャサリン

「ヨッシーちゃんはいるんでしょうね！？」

ジユゲム

「それも秘密です」

ワルイージ

「てかお前は化粧とヨッシーの事しか興味無いかよー！」

キャサリン

「料理も趣味よ」

キノピコ

「キャサリンって料理できるんだ」

ワルイージ

「意外だ」

キャサリン

「晩御飯は私が作ってあげる」

共同生活開始（後書き）

引っ越し完了。

キャサリンの料理の腕や如何に…？

共同生活開始2（前書き）

ワルイージ

「タイトル適當過ぎるだろ！」

ボスパツクン

「俺の紹介も適當w」

共同生活開始2

〽1時間後〽

キャサリン

「出来たわっん」

鍋の中の紫色の液体から激臭が漂っている。

クツパ」」

「……」

キングテレサ

「……」

ハイホー

「……」

ワルイージ

「……誰か窓開ける……」

ボスパツクン

「おいしそ〜う」

ワルイージ

「止める！食ったら死ぬぞ！」

キノピコ

「あ、全部食べないでね。私達の食べる物が無くなるから」

ワルイージ

「ツッコむ所が違う上にお前も食う気かよ!？」

キャサリン

「何よアンタ達!アタシの料理が食べれないの!？」

ワルイージ

「…ゴメン。俺、自分の命の方が大事なんだ。」

キャサリン

「キャサリンキイック」

ワルイージ

「ガハッ…」バタッ

ボスパックン

「いただきます」

クツパ」」

「えっ、食うの…?」

微グロ注意

キングテレサ

「本当に食っちゃったぞ…」

キャサリン

「あら、パツクンちゃんったらいい子ね」

ボスパツクン

「パクパク……………！！??？」

ボスパツクンの体から紫色の液体が吹き出ている。

ボスパツクン

「¥\$#& ;%*%\$¥& ;%~!!」バタツ

キングテレサ

「大丈夫かっ！」

ワルイージ

「どうみても大丈夫じゃ無いだろ」

キノピコ

「あ、ワルイージ復活した」

キャサリン

「パツクンちゃん！

…うつつ、ゴメンね。体から液体が吹き出すほどおいしい料理を作っちゃって…」

ワルイージ

（反省してねえ！）

ヘイホー

「仕方ないですね…」

↳更に1時間後↳

ヘイホー

「皆さん、出来ましたよ」

ワルイージ

「やっと出来たか」

キャサリン

「何で皆、私の料理を……ブツブツ」

ワルイージ

「とにかくお前は料理禁止だ！」

キャサリン

「……………」

ワルイージのクリスマス（前編）（前書き）

クツパ

「ゲハハ、ついにワガハイの出番だ！」

ワルイージのクリスマス（前編）

12/24 pm. 12:30

ワルイージ

「…暇だ……………」

ワルイージ

「キノピコはキノピオとデートにキャサリンはヨツシーを強引にデート（なのかあれは？）にキングテレサは仕事、ハイホーはケーキを作るって言って朝から台所に籠ってやがる…」

ワルイージ

「おまけにボスパックンはキノピコとクツパーにクリスマスツリー代わりにされるし…」

クツパー

「そんなに暇ならボクがいるぞ！」

ワルイージ

「あ、お前いたのか」

クツパー

「ボクは朝からいるぞ！忘れるな！」

pm . 1 : 0 0

クツパ Jr .

「せっかく男2人なんだし何かしようぜ」

ワルイージ

「言い回しがキモいぞ…男2人って何が言いたいんだよ」

クツパ Jr .

「やらないか？」

ワルイージ

「……」

クツパ Jr .

「マリカをね」

ワルイージ

「なんだそつちか…」

クツパ Jr .

「あれ…？何考えていたの…？ワルイージくん？まさかそつちの事とか…？」

ワルイージ

「……」 (…いっ…！)

p m . 1 : 1 5

クツパ」r .

「これでW i i iの準備完了…っ」と

ワルイージ

「じゃあ早速マリカW i i iやるぞ」

く 2 時間後く

ワルイージ

「いくら暇だからって2時間もやれば飽きる」

クツパ」r .

「ボクも飽きた…」

プルルルル（電話の呼び出し音）

ワルイージ

「電話か…誰からだ？」

クツパ」r .

「まさか詐欺の…」

ワルイージ

「どつやったらその発想に至るんだよ！」

ワルイージ

「とりあえず取るつ」ガチャ

キノピコ

『はいキノピコです』

ワルイージ

『テンション高っ！』（クソッ、リア充め！）

キノピコ

『いきなりで悪いんだけどキノピオをそっちに連れて行っていい？』

ワルイージ

『ちよっとハイホーに聞いてみる』

〜数秒後〜

ハイホー

『はい、代わりました』

キノピコ

『連れて来ていい？』

ハイホー

『ああ、大丈夫ですよ』

〜更に数時間後〜

pm.6:30

キノピコ

「ただいま〜」

ヘイホー

「お帰りなさい」

キノピオ

「おじゃまします」「ペコリ

キノピコ

「キャサリンは？」

ワルイージ

「キャサリンなら帰ってきてる。ヨツシーを無理矢理連行してな」

ヨツシー

「ぐうぐう…くる…しい…」

キャサリン

「せつかくパーティーに誘ってあげたのに苦しいは無いじゃない！」
グイグイ

ワルイージ

「ならヨツシーを離してやれよ！締め上げるなよ！」

ピンポン

クツパ」r・

「誰かな？」

ワルイージ

「俺が出よう」ガチャ

クツパ

「グハハ、メリークリスマス……」

ワルイージ

「呼んでねえ、帰れ」ガチャン

クツパ

「……ワガハイを入れてくれないだろ！何も門前払いする事は無いではないか！」

クツパ」r・

「そーだよ、お父さんを入れる！」

ワルイージ

「ハイハイ……」ガチャ

ワルイージのクリスマス(前編)(後書き)

後編に続く

ワルイージのクリスマス(後編)(前書き)

クツパ

「続きなのだ」

ヨッシー

「さりげなく私達も初登場です」

キノピオ

「そうそう」

ワルイージのクリスマス（後編）

pm・7:00

ハイホー

「皆さん、準備が出来ましたよ〜！」

ワルイージ

「よし、食つぞ〜！」

ヨッシー

「おいしそう…」「ジュルルッ

一同

「では…」

一同

「いただきます〜す！」

~~~~~

クツパ

「美味い！もつと酒を！」ヒック

ワルイージ

「勝手に人の家上がって酒飲むな！」



クツパ

「まあそういわずにワルイージも吞め！」ヒック

pm・7:50

クツパ

「ゴクゴク…」ヒック

ワルイージ

「ひゃゝあゝあゝあゝうゝまゝい」ヒック

キノピコ

「私も吞みたいな」

ワルイージ

「未成年はダメ、ゼツタイ！」

クツパ Jr.

「それでお父さん、サンタさんにクツパクラウンと3DSちゃんと頼んだ？」

クツパ

「あ、ああ…」(クツパクラウンは乗って来たから持つてるけど3DSは買って無いんだよね…)

ワルイージ

「サンタなんかいねーよ。サンタのオッサンの正体は…グッ…」ガシッ

ヘイホー

「子供の夢を壊すのは止めましょう」

キノピコ

「私もサタンさんに3DSをお願いしたんだ」

ワルイージ

「サタンじゃなくてサンタな……ってちょっと待て！キノピコのプレゼントってまさか……」

ヘイホー

「ワルイージさんが買うようですね……」

ワルイージ

「だよな……」

キノピコ

「どうかしたの……?」

キノピオ

「おい、キノピコ！こっちでヨッシーさんとボスパツケンさんで  
マリオパーティーやるよー！」

キノピコ

「うん！そっち行くー！」

ワルイージ

「おい、クツパ」

クツパ

「何だ？」

ワルイージ

「クツパ」のプレゼントって買ったのか？」

クツパ

「クツパクラウドはワガハイが持ってきたからあるが、3DSは買ってないぞ」

ワルイージ

(クツパクラウドがクリスマスプレゼントってどついう事だよ…)

「じゃあ後で買いに行くか？」

クツパ

「賛成だ」

pm.9:00

キノピオ

「お邪魔しました！」

キノピコ

「またね」

ヨッシー

「では、さようなら」（ふう…死ぬかと思った）

キャサリン

「また来てねヨッシーちゃん」

ヨッシー

「はい」（行くならキャサリンがいない時がいいな…）

クッパ

「ワガハイ達はいつ行くか…」

クッパ」

「お父さん達どこに行くの？」

ワルイージ

「ん？どこにも行かないからガキは早くねな！サンタが来ないぞ」

クッパ」& a m p ; キノピ」

「はい」

p m . 1 0 : 0 0

ワルイージ

「さて、あいつらも寝た事だしそろそろ行くか」

ヘイホー

「お気をつけて」

p m . 1 0 : 1 5

〈某大手おもちゃ店〉

クツパ

「さて3DSを買うか」

ワルイージ

「俺の財布が悲鳴を上げてる…orz」

店内アナウンス

「ではこれからクリスマスセールを行います！各売り場のレジにて  
先着10名様に限り1品だけなんとたったの50コインで買えてし  
まいます！」

ワルイージ& amp ;クツパ

「えっ!?!」

ワルイージ

「これは…」

クツパ

「やるしか無いのだ!」

ワルイージ

「うおりゃあ!」ドンッ

アナウンス

「ワルイージがゲーム売り場にたかる主婦の群れに突っ込んだあ！」

主婦

「どきな！」ドスッ

ワルイージ

「ガハッ！」

アナウンス

「しかし、主婦強し！あっさりとワルイージを弾いてしまったあ！」

ワルイージ

「何でアナウンスが実況してるんだよ！」

クツパ

「ガハハ、ワガハイはクツパクラウンを使って上から取るのだ！」

アナウンス

「おおっとクツパは上から売り場に突入したぞ！」

ワルイージ

「俺も乗せる！」ガシッ

アナウンス

「ワルイージもクツパクラウンに乗り込んだ！」

クツパ

「重量オーバーなのだ！墜落するぞ！」

アナウンス

「重量オーバーのクツパクラウンが3DS売り場に墜落！しかし2人共何とか3DSは手に入れた！後はレジまで一直線だあ！」

ワルイージ

「クソッ！レジに人が押し寄せてくる！」

クツパ

「このままでは間に合わん！」

ワルイージ

「こっとなつたら一か八かで……」

アナウンス

「おおつとワルイージ、クツパ共にレジにヘッドスライディングをしたぞ！どうやら間に合ったみたいだあ！」

ワルイージ

「よっしやああああ……！」

クツパ

「やったぞ」r.！」

店員

「あの〜申し訳ありませんがゲーム売り場のレジはあちらです」

ワルイージ& amp.クツパ

「えっ…？」

その後ワルイージとクッパはゲーム売り場の先着10人になる事が出来ず、定価で3DSを買ったのは言うまでもない事だった。



ワルイージのクリスマス(後編)(後書き)

ワルイージ

「俺の財布があ…」

### 3匹のゴリラ(前書き)

ディディーコング

「オイラはゴリラじゃない!」

### 3匹のゴリラ

ワルイージ

「…今日もみんな出かけたな…暇だし外で散歩でもするか」

ガチャッ

キノピコ

「たっだいま」

ワルイージ

「お、キノピコが」

キノピコ

「あ、どうしたの？ワルイージ？」

ワルイージ

「ああ、これからちょっと散歩行ってくるつもりだ」

キノピコ

「わたしも暇だし付いてっついていい？」

ワルイージ

「まあかまわんけど」

~~~~~

キノピコ

「あれ〜？うちの隣にこんな店ってあったっけ？」

ワルイージ

「知らんぞ…何だこの店は？」

ドンキーコング（以下DK）

「ウホッ！ウホホイ！」

キノピコ

「あつ、エネゴリ君だ！」

ワルイージ

「いや！エネゴリじゃないから！ドンキーコングだからね」

デイディーコング（以下デイディー）

「そつだ！オイラの相棒はドンキー。エネゴリなんかじゃないぞ！」

ワルイージ

「…で、お前達がこの店を開いているのか？」

デイディー

「そつさ！他にももう1匹いるけどな」

ファンキーコング（以下ファンキー）

「そつデース！ミーがイマス！」

ワルイージ

「お〜い、作者！マリオより先にDKシリーズのキャラが出たぞ！

「何やっているんだ！」

「因みにマリオの出番はありますが、もう少し先です。
ルイーダ？はて、何のことやら？」

「デイデー」

「で、オイラ達の店で何か買うのかい？」

「ワルイーダ」

「いや買わない……ってかおかしいだろこの店！バナナとピーナッツ
とマシガンと一緒に置いてあるってどういいう状況だよ！」

「キノピコ」

「ロケットランチャーもあるよ」「カシヤツ」

「ワルイーダ」

「いやいやいや！大事なのはそこじゃないから！ってそれを俺に向
けるな！」

「キノピコ」

「えいつ」「ズガーン」

「ワルイーダ」

「ぐはあっ！」「ドカーン」

「ファンキー」

「Excuse me、品物を勝手に使わないでクダサイ」

キノピコ

「ごめんなさい」

ワルイージ

「まず俺の心配をしろ！」

ワルイージ

「ってか、マシンガン、ロケットランチャー、ショットガンにプラズマランチャーって何処の武器商人だよ！これ、警察に見られたら即刻牢獄行きだろ」

デイディー

「ファンキーが趣味で集めた物だよ」

ファンキー

「因みに許可は取ってありマス。これ重要デース」

ワルイージ

（どんな趣味だよ…ってか誰が買うんだよ）

キノピコ

「これちょうだい」

ファンキー

「このバズーカ砲は50000コインデース」

ワルイージ

「お前が買うのか！止めとけ、子供が買う物じゃないだろ」

キノピコ

「え〜…しょうがないわね〜」

ファンキー

「止めるのデスカ…残念デース」

ワルイージ

（あんなの買われたら命がいくつあっても足りねえよ…）

DK

「ウホホイ…」

デイディー

「『俺、なんか空気…』って言ってるぞ」

3 匹のゴリラ（後書き）

DK達の店はワルイージ達の家の隣にある設定ですが、出番は少なめにするつもりです。

波乱の予感…？

ある朝

ヘイホー

「郵便受けの配達物の中にこんな物が入っていましたよ。宛先はこの部屋全員になっていきますね」

ワルイージ

「俺達に？で、内容は？」

ヘイホー

「今から読み上げますね。えっと、なにになに…」

（手紙の内容）

おめでとうございます！

あなた達は抽選の結果、新年に行われる特別企画「新春！マリオカート！」の出場権を獲得しました。

ルール

- ・使用するマシンはカート、バイクを問わない。
- ・マシンは今までのマリオカートで使用された物に限る。
- ・空中ゾーンでのカイトの使用は認める。
- ・マシンのタイヤやカイトのカスタマイズは禁止する。よってタイヤはスタンダードタイヤ、カイトはスーパーカイトのみ使用が認められる。
- ・2カップ（8レース）行い、総合ポイントが一番高い者が優勝。
- ・各レース終了時に下位2名は強制リタイヤとなる。

カップは
カオスカップ
ギヤラクシーカップ
の2つとなっております。
優勝者には賞金と素敵な景品があります。

以上

ハイホー

「……」

クツパ」r・

「……」

ボスパツクン

「……」

ワルイージ

「…すまん、どこから突っ込めば良いんだ？」

キノピコ

「ワタシこんなのに応募した覚えは無いよ」

ワルイージ

「そもそも「新春！マリオカート！」って何だよ！聞いた事ねーよ」

ハイホー

「そしてこの手紙、差出人不明なんですよね…」

ワルイージ

「そしてこのカップ名のダサさ…イタズラか？」

ヘイホー

「かも知れませんか」

ボスパツクン

「でも、ここに来た時ジュゲムがマリオカートをやって貰うって言うてなかった？」

クツパ」r.

「そういえば言うてたな」

ヘイホー

「おや？封筒の中からもう一枚紙が…」

ワルイージ

「これは、参加者一覧か…こんなに行かねーけどな」

参加者一覧

・マリオ

・ルイージ

・ピーチ

・ヨッシー

・キャサリン

・クツパ

・クツパ」r.

・キノピオ

- ・キノピコ
 - ・ワリオ
 - ・ワルイージ
 - ・ヘイホー
 - ・ボスパツケン
 - ・ノコノコ
 - ・カロン
 - ・DK
 - ・デイディー
 - ・ロゼッタ
 - ・ハニークイーン
 - ・ファンキー
 - ・ハナチャン
 - ・カメック
- 以上22名

ワルイージ

「これも突っ込み所が多いな…まず22人って多過ぎだろ！」

キノピコ

「カメックさんってマリオカート出てたっけ？」

ヘイホー

「デイジーさんやパタパタさんがいませんね。何かのフラグでしようか？」

ワルイージ

「メタ発言やめい！キングテレサは忙しいから外されたのか？」

キャサリン

「アタシはヨッシーちゃんがいるだけで十分だわ！」

クツパ」r.

「変態は黙れw」

キャサリン

「あん？んだとクソガキがア！」

クツパ」r.

「ちょw地が出たwww」

ワルイージ

「おい、これハニークイーンいるじゃん」

クツパ」r.

「色々楽しくなりそうw」

キノピコ

「ウンウン」

ワルイージ

（この娘何考えてるかわからんのが怖いな…これは素なのか？）

ボスパックン

「とりあえずジュゲムさんに聞きに行こうよ」

ハイホー

「ですね、ジュゲムさんなら何か知っているかも知れません」

くくく

キノピコ

「どんなマシンがあるか楽しみだね」

クツパ」

「ボクはクツパクラウンがあるからマシン選びはいらないけどね」

ワルイージ

「お前らちょっとまって！ジユゲムの登場シーン丸々カットされてるぞ！」

キノピコ

「ああ、それなら作者がめんどくさいからカットするって言ったよ」

キャサリン

「あれカットされても支障は無いじゃない。それよりヨッシーちゃんとレース出来るなんて」ry

どこかにいるヨッシー

(…！何か寒気がした…)

くくく

ボスパックン

「ここが地図にあったマシンの整備工場なんだ」

ワルイージ
「じゃあ入るぞ」

波乱の予感…？（後書き）

デイジーとパタパタを出さないのはキャラが固まって無いからです。
つまり……？

キノピコの野望(?)

キノピコ

「こんにちは」

オヤ・マー

「何じゃ？」

クツパ」r・

「誰だっけコイツ？」

ボスパツクン

「記憶に無いんだな」

ワルイージ

「お前らひでえな…ほら、ルイージマンションに出たオッサンだよ」

オヤ・マー

(フォローすると見せ掛けてさりげなく酷い事を言いおる…)
「用件は大体わかっておる。カートの事じゃな？」

キノピコ

「そっだよ」

オヤ・マー

「じゃあ、あそこに見本があるから彼らと一緒に選ぶのじゃ」

ワルイージ
「彼ら?」

~~~~~

ワルイージ

「あ、お前らは…」

ドンキー

「ウホッ、ウホホイ!」

デイディー

「久しぶりだな!」

キノピコ

「エネゴリ君じゃない」

ワルイージ

「エネゴリ引っ張り過ぎだから!てか初登場から2話しか経ってないし」

クッパ」r・

「話はワルイージから聞いたけど、ファンキーいないくない?」

ファンキー

「ミーならここにイマース!」

ハイホー

「お隣り同士よろしくお願いします」

デイディー

「こちらこそ」

くくく

ワルイージ

「俺はこの『コバルトセブン』ってのがいいな」

ボスパツクン

「僕は『ファイアホットロッド』が良いんだな」

クツパ」r .

「ボクはクツパクラウンにタイヤを付けてもらうだけでいいぞ」

デイディー

「オイラは『ドルフィンキック』かな？」

ファンキー

「ミーは『スーパーバウザー』が良いデース」

ワルイージ

（ファンキーにスーパーバウザーってただのガチじゃん）

ドンキー

「ウホウホ、ウホホイ！」

デイディー

「『タルポツポ』がいい！って言ってるぞ」

キャサリン

「キャシーはヨッシーちゃんの『エッグワン』！」

ヘイホー

「私は『ワイルドスター』に乗りたいですね。キノピコさんは？」

キノピコ

「うーん…これかな？」

ワルイージ

「……『カロンカノン』って……」

オヤ・マー

「決まった様じゃな。じゃあ当日に用意して会場で待っておるからの」

キノピコ

「ファンキー、後で話したい事があるけどいい？」

ファンキー

「OKデース。何の用デスカ？」

キノピコ

「それは後で」

~~~~~

ハイホー

「では、私達は先に帰っていますからね」

キノピコ

「うん、後から行く」

ファンキー

「で、用とは何デスカ？」

キノピコ

「あのカロンカノンに本物の戦車砲つけて」

ファンキー

「OKお安いご用。ミーに任せるデース」

キノピコ

「後、バズーカ砲も欲しいな」

ファンキー

「お金は…」

キノピコ

「後で持っていくから、その時でいいよ」

ファンキー

「まいどあり〜デース」

キノピコ

（これでハニークイーンに…）

キノピコの野望(?) (後書き)

ワルイージ

「止める！キノピコにバズーカ砲とか危険過ぎる！」

新キャラ解放（前書き）

ワルイージ

「隠しキャラ解放みたいに言っな！」

新キャラ解放

キングテレサ

「行ってくるぜ」

ワルイージ

「おう、いってらー!」

ボスパックン

「行ってきまゝす」

ワルイージ

「いってらー!」

キャサリン

「行ってくるわっ!」

ワルイージ

(コイツの職場ってどこだ?) 「いってらっしやい」

ワルイージ

「…なあ、へいホー」

へいホー

「どうしましたか?」

ワルイージ

「ひょっとして、この家の未成年以外で無職なのって俺とお前だけ?」

ヘイホー

「私にも仕事はありますよ。今は休職中ですが」

ワルイージ

「って事は無職は俺だけか！」

ヘイホー

「そうなりますね……」

ワルイージ

「やっぱり……」

キノピコ

「まったく……ウチの馬鹿息子は35にもなって無職だなんて……何を育て間違えたのかしら」グスッ

クツパ」r.

「泣くな母さん、あいつがああなったのは俺のせいだよ……」

ワルイージ

「お前ら何のノリだよ！あん？大体俺35じゃねーし……！」

クツパ」r.

「いや〜ちよつと弄りたかったただけだよw」

キノピコ

「うんうん ダカラ ハタラケ！」ズガン！

ワルイージ

「ぐはぁっ!」

ワルイージ

「ひでえ…お前ら俺を何だと思ってるんだ!」

クツパ Jr. & amp; キノピコ

「ニートガリノツポ」

ワルイージ

「キノピコオ…お前、その言動は素なのか?それともわざとなのか?」

キノピコ

「うっん、素かな」

ワルイージ

「素かよっ!どんだけ鬼畜なんだこの娘w」

キノピコ

「えへへっ、何か言った?」カシヤツ

ワルイージ

「な、何も言っていない!だ、だからそのバズーカ砲を俺に向けるな!」

~~~~~

ハイホー

「…で、仕事を知らないかと？」

ワルイージ

「ああ、何でもいいから何か無いか？」

ヘイホー

「……それなら私の知り合いのパタパタさんが配達をやっているんで、そこに頼んでみましょう」

~~~~~

パタパタ

「で、この方に配達を手伝わせて欲しいのですか？」

ヘイホー

「はい」

ワルイージ

「俺じゃあダメか？」

パタパタ

「いえ、その事なら私でなく所長に尋ねるべきですよ」

ワルイージ

「ですよね〜じゃあその所長にバイトを頼んでみる」

所長

「君がワルイージ君かね？話しはパタパタさんから聞いたよ」

ワルイージ

(パタパタさん？あのパタパタって女なのか？)

「あの〜俺飛べないけど大丈夫ですかね〜？」

所長

「大丈夫だ。君にはバイクを渡すからそれで配達してもらおう」

ワルイージ

「そうか、なら心配いらないつすね」

〜

ワルイージ

「早速所長に同僚を紹介されたんだが…」

ルイージ

「僕の事かい？」

ワルイージ

「何でお前がいるんだよ！」

ルイージ

「金欠だからかな？それより僕、兄さんより登場が早いよ！」

ワルイージ

「…限りなくどうでもいい」

パタパタ

「あっ、ワルイージさん！」

ワルイージ

「どうしたんだ？」

パタパタ

「いきなりなんですけど…」

ワルイージ& amp; ルイージ

「？」

パタパタ

「皆さんの家に入れて下さい！」

ワルイージ

「何があった？」

パタパタ

「実は住んでいるアパートが潰れて住めなくなっただんです…」

ワルイージ

「大変そうだな…まあ、ハイホームジユゲムもダメとは言わないだろうからいいぞ」

パタパタ

「本当ですか！？ありがとうございます！」

ワルイージ

「……そういう訳だ、パタパタを入れていいか？」

パタパタ

「よろしくお願いします」

ヘイホー

「私は大丈夫ですが、ジユゲムさんに許可はとりましたか？」

ワルイージ

「それなら元々この部屋に呼ぶつもりだったから問題無いって言うてた」

ヘイホー

「なら早速歓迎パーティーをしましょう！」

ワルイージ

「だな！」

~~~~~

ヘイホー

「……と言うわけでパタパタさんがこの部屋の仲間になります」

パタパタ

「では自己紹介をしますね。私の名前はパタパタで性別は女です。因みに好きな食べ物はマヨネーズです」

クツパー」

(うわ…マヨネーかよ！)

パタパタ

「例えばここにあるキノコにマヨネーズをかけて食べると結構おいしいんですよ」

キノピコ

「きゃ〜放して〜ワタシはおいしくないわよ〜」

パタパタ

「…ハッ、ごめんなさいごめんなさいごめんなさいごめんなさいごめんなさいごめんなさい！死んでお詫びします！」

ワルイージ

「いや、死ぬ必要無いから！」（マトモな奴かと思ったがそうでも無いみたいだな…ハア……）

新キャラ解放(後書き)

ジユゲム

「また出番飛ばされた…いい加減だして下さいよ作者さん」

ルイージ

「出番の早さで兄さんに勝ったんだ！よっしゃああああ！！」

クツパ Jr.

(何なんだコイツら…)



## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n7127z/>

---

ワルイージ達が共同生活を始めるようです

2011年12月29日01時54分発行